

鴨川探検！再発見！

～第 52 弾 鴨川の生き物観察&水質調査～

日時 2019 年 7 月 28 日（日）

場所 鴨川北山大橋周辺

天候 晴れ 気温 33℃

主催 京都府建設交通部河川課

参加者 大人 50 名 子供 39 名 当会スタッフ 8 名 河川課関係 15 名 賀茂川漁協 3 名
合計 115 名



夏の鴨川探検再発見は 3 年ぶりに実施となった。毎回大変な人気で今年も募集 1 日目で定員をオーバーしてしまった。

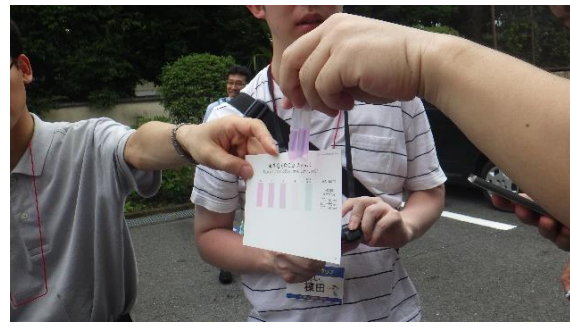
まず当会スタッフからパワーポイントを使って今日のタイムスケジュールや特定外来生物の話などを 10 分程度するにあたって、緊張をほぐすため「今日は僕の誕生日です。だれかケーキを持ってきた人いるかな」の問いに「そんなん聞いてないし」と 2 年生の女の子からつつこみが入り、一気に場がなごんだ。

熱帯にあるミャンマーの都市ヤンゴンの一番暑い季節と京都の 8 月の気温をグラフにして「このグラフで何がわかりますか」という問いに対して、先ほどの女の子が「わかりません」と即座に答えていた。次に男の子が「京都の気温の方が高いことです。」と答えて「正解です。」というやり取りがあった。

最後に川に入るときの注意事項や鴨川条例の話をして、皆さん川へ入る準備をして、6 班に分かれて鴨川へ。例年よりやや水量が多く流れも速かった。小さなエビや水生昆虫、魚などが次々とトレイに入れられ、子供たちが目を輝かせてのぞき込んでいた。ブルーギルやブラックバス、アメリカザリガニ、アメンボ、ハグロトンボやコオニヤンマの幼虫、ドンコなど様々な生き物が見つかった。

1 時間足らずだったが、夏休みのひと時を親子が川に入って獲物を求めて動き回る光景は微笑ましいものだ。

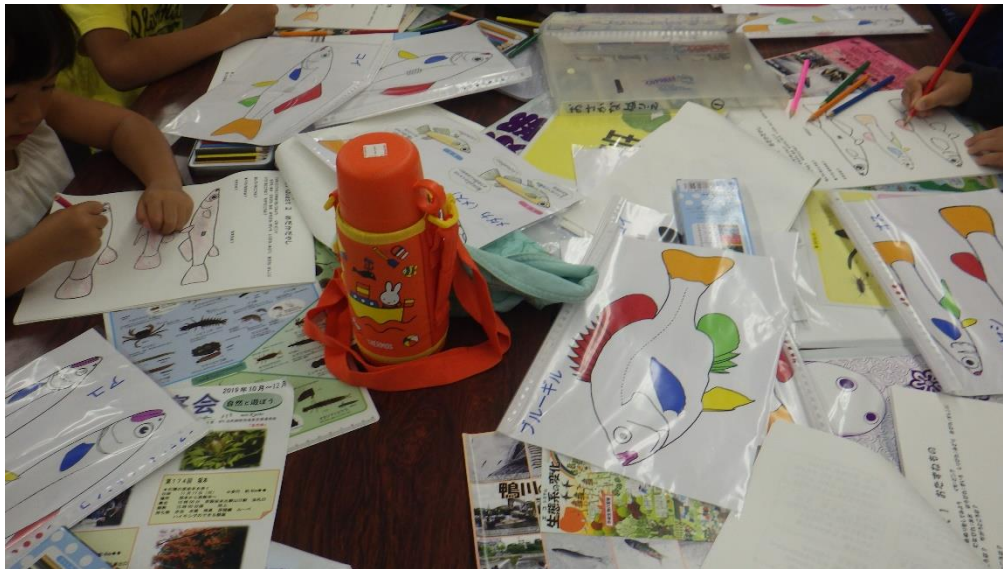
賀茂川漁協の方が投網を使って、大きなコイを捕獲し、子供たちに見てもらおうと大きな歓声があがり、ウロコに触れて満足した様子だった。



パックテストの結果はややきれいだった。

午後からは塗り絵の時間。見本に従ってサカナのヒレだけを色鉛筆で塗る作業だ。サカナの種類によって、ヒレの場所が違うことがよくわかる。

ブラックバスやブルーギル、コイ、メダカ、ウナギなど見本を見ながらヒレを塗り、塗り終わると、見本を同じテーブルにいる小学生に渡していた。



最後に今日の観察会のまとめを、子供たちみんなが書いて解散となったが、上記の2年生の女の子が最後まで残って丁寧に書いていたのが、印象的だった。

文責（弓削俊彬）